

人を恋うる歌

与謝野 鉄實 作詞

妻をめとらば才たけて
みめ美わしく 情ある
友を選ばば書を読み
六分の俠気 四分の熱

恋の命をたずぬれば
名を惜しむかな男の子ゆえ
友の情けをたずぬれば
義のあるところ火をも踏む

ああわれダンテの詩才なく
バイロンハイネの熱なきも
石をいだきて野にうたう
芭蕉のさびをよろこばず

(以下省略)

人を恋うる歌

与謝野

鉄實

作詞

1.

妻をめとらば
才たけて
みめ美わしく
情ある
友を選ばば
書^{りくぶ}を読み
六分の俠気
四分の熱

人を恋うる歌

与謝野

鉄實

作詞

2.

恋の命を

たずぬれば

名を惜しむかな

男の子ゆえ

友の情けを

たずぬれば

義のあるところ

火をも踏む

人を恋うる歌

与謝野

鉄實

作詞

3.

ああわれダンテの
詩才なく
バイロンハイネの
熱なきも
石をいだき
野にうたう
芭蕉のさびを
よろこばず

(以下省略)
End